

文化協会だより

【発行】
愛川町文化協会 広報委員会
【事務局】
〒243-0392
愛甲郡愛川町角田 251-1
愛川町教育委員会
スポーツ・文化振興課内
電話 046-285-6958



今年の元日は、令和6年能登半島地震という自然災害と、翌二日には羽田空港に於ける日航機と海上保安庁機との接触事故で犠牲者が出るという人為的災害で幕が上がりました。

とりわけ能登半島地震に於いては、住居倒壊や道路寸断、断水及び停電等々、ライフラインの壊滅的状況がひどく、今もなお復旧の目途すら立っておらず、南海トラフ地震が想定される太平洋側の我々神奈川県民としても決して対岸の火事では済まされなれないと思うのです。

さて、昨年は、恒例の「ふるさとまつり」が四年ぶりに開催され、詩吟、琉球民謡、カラオケ、マジック等々の催しが展開され、充実した文化活動が行われたものと思っております。

令和7年度には協会創立五十周年を迎えますので、各団体の皆様方の一層の努力を期待いたしております。

どうか、愛川町文化協会のますますの発展にご尽力頂きますようお願い申し上げます。



愛川町文化協会会長
原 啓 祐

会長あいさつ

●●● 会員募集 ●●●

現在、文化協会に所属している団体では、新規会員を随時募集しております。各団体に少しでも興味がありましたら下記団体の担当者までどうぞお気軽にご連絡ください。

所 属	担 当 者	電話番号	活 動 場 所	活 動 内 容
みなかみ短歌会	富 田 茂 子	046-281-1764	中津公民館等	月1回の定例研修会、新春歌会、他市の展示会への参加等
愛川町写真クラブ	田 上 奄	046-285-5020	県内・県外の神社、お寺、公園及び中津公民館等	年10回程度の撮影会及び中津公民館での勉強会、会員写真展、他市の団体への協力等
愛川町吟詠連盟	勝 又 莊 蔵	046-286-1035	中津公民館等	月2回の詩吟教室、吟詠発表会等
愛川さつき会	諏訪部 信	046-285-1743	愛川町文化会館、農村環境改善センター等	月1回の講習会、春季・秋季展示会等
愛川町民謡協会	長谷川 隆	046-281-4418	愛川町文化会館等	会ごとの練習、年1回の民謡協会発表会等
愛川華道協会	澤 樹 若 江	046-285-1125	各流派社中の稽古場、中津公民館等	流派ごとの華道稽古、年1回の華道協会展、県華道展、武相展、他市の団体への協力等
愛川町将棋愛好会	大 塚 三 郎	046-285-6137	愛川町文化会館等	月3回(水・土・日 10:00~16:00)の定例将棋戦、年4回のトーナメント戦、年1回の食事会等好きな時間に来て、仲間と将棋を指し楽しんでます!
愛川町歌謡協会	田 中 美代子	046-286-0764	中津公民館、農村環境改善センター等	年に2回の歌謡発表会、老人ホームへの慰問等
愛川茶道協会	足立原 美智子	046-285-2973	各流派社中の稽古場、中津公民館、他地区茶会々場	流派ごとの茶道稽古、初釜、炉開き依頼に応じて、茶席会場にて茶会も行っています。
マジック愛川クラブ	井 上 桂	046-285-0352	中津公民館等	町内・町外問わずイベントでのマジックの披露
愛川ばら会	小 島 信 章	046-281-6080	お問い合わせください	
神奈川ふだん記	足立原 美智子	046-285-2973	足立原代表宅の編集室、出版祝時の集会々場	機関誌「やまゆり」の発行に伴う原稿整理、及び編集制作業務
よさこいダンスチーム Funny	萩 原 智恵子	046-285-5162	県内・県外イベント、愛川東中学校体育館等	県内・県外のイベントでのよさこいダンスの発表、中学校体育館での練習

令和5年度 愛川町教育委員会表彰受彰者の紹介

当協会から、1名の方が「令和5年度愛川町教育委員会表彰」を受彰されました。おめでとうございます。今後も特技を活かされて、更なる活躍を期待いたします。

受彰者氏名
小 島 瓊 禮 (敬称略)
所 属 神奈川ふだん記

- 【広報委員会】
- 委員 長 愛川町吟詠連盟 勝 又 莊 蔵
 - 副委員長 愛川町将棋愛好会 伊 藤 義 隆
 - 委員 長 愛川町民謡協会 長 谷 川 隆
 - 委員 長 愛川町短歌会 富 田 茂 子
 - 委員 長 愛川さつき会 諏 訪 部 信
- 題 字
愛川町文化協会 原 啓 祐

編集後記

ここ4年ほどコロナの影響で文化行事も自粛自粛と我慢を強いられてきました。が、昨年はようやくふるさとまつりの発表会がホールで通常通り開催できる運びとなりました。

時に人間関係もバラバラになりがちでしたが、日常が少しずつ戻ってきました。この文化協会だよりが少しでも皆さんの余暇を豊かに出来れば幸いです。

思い立ったら今すぐお電話を。会員一同首を長くしてお待ちしています。

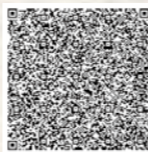
愛川町吟詠連盟 勝又莊蔵

主将 愛川町将棋愛好会



『将棋は着想力のゲーム』。指すたびに脳がバチバチ刺激されメキメキ活性化します。会自体も着想力で新手を連発してきました。

- ①勝敗より「人と指す喜びを味わう」を優先
- ②開催時間の倍増＝月3回(水・土・日)
- ③子ども会費廃止(大人は28円弱/1回換算)
- ④開催日の無人伝言電話(046-210-9633)
- ⑤大会は希望者のみで年4回(勝ち抜き戦)
- ⑥一部の公共施設や大型店に募集ポスター掲示
- ⑦対局時計アプリとLINE(役員)の活用、二次元コードの利用



詳細はこちら

この他に、親睦・研修会と2回の普及会(一般対象と小学生対象)は好評継続中です。会員は約40名。初心者歓迎。体験入会随時可。棋力も活力も確実にアップします。

愛川さつき会

サツキは日本固有の植物で、最大の魅力は花の美しさです。多彩で変化に富んだ品種は三千種とも五千種とも言われています。

活動は春と秋の展示会、定期的な講習会、サツキ盆栽の本場である鹿沼への研修視察などを実施しています。講習会は年に5回から6回の頻度で定期的に行い、盆栽作りの技術向上と会員相互の親睦を図っています。展示会は春と秋に開催しています。今年の展示会は同様に感染予防を徹底して開催となっています。会の悩みとして高齢化が進んでいることです。随時募集していますので、興味のある方は入会をお願いいたします。



愛川町民謡協会



愛川町民謡協会は、昭和53年に発足し、今年で46周年を迎えます。発足以来愛川町文化の興隆に貢献してまいりました。今後も創立50周年に向けて各団体精進を続けております。しかしながら最近になって加盟団体数が著しく減少し、一時期9団体以上あったのですが、現在は松風会、鈴月会、勝芳会と琉球舞踊の結船、無絃太の5団体となり人員数も40数名となっております。

民謡は“心のふるさと”と呼ばれていますが、若年層の方達には馴染みが薄くなってきた様で、いささか残念ではあります。しかし、今後も町主催のふるさとまつりや、その他文化行事には積極的に参加したいと思っております。

年に1回会員による発表会を開催しております。愛川町の方や本誌を手にとりいただいた町外にお住まいの方のご来場を心よりお待ちしております。

第51回 立科町文化展



展示会場立科町中央公民館の前で撮影
左から 3名立科町職員、吉田、事務局職員、渡辺



展示品の前で撮影
左から 松枝、足立原(代表)、山田

令和5年10月31日(火曜日)、私たち神奈川ふだん記のメンバーは立科町文化展準備のため、愛川町文化協会事務局の方々に道中の運転をはじめ色々とお世話をして頂き、早朝より圏央道から上信越道を利用し立科町へ向かいました。

到着した会場では立科町の教育次長の羽場様、公民館長の市川様をはじめとする関係者の皆さまの温かな出迎えをいただき早速準備に取り掛かりました。

展示スペースの机には既に白布が掛かっており、お気遣い感謝しながら作業を進めました。今回の展示会では「やまゆり」創刊の第1号から最新の第94号をはじめ個人誌も多数展示しました。

帰路の途中で「十八塚りんご生産協同組合」にお邪魔をしました。雄大な農園に赤々とたわわに実るりんごが私たちを出迎えてくれているようでした。りんごの極み・立科りんごを堪能しました。

立科町の皆様より「自分の歩いてきた道を振り返り、記録していくことは大切なこと」などのたくさんの感想をいただきました。

今回の出展により我々の想いが立科町の皆さまの心に伝わると共に、友好都市としての文化交流の一助になれば幸いです。



愛川町写真クラブ



愛川さつき会



原会長挨拶



みなかみ短歌会



みなかみ短歌会



神奈川ふだん記

ふるさとまつり 第37回 文化展 ・文化芸能 発表会 紹介



愛川町将棋愛好会



愛川華道協会



立科町から出展
生命の源・宇宙感を表現した作品「源」



愛川町写真クラブ



愛川町歌謡協会



愛川華道協会



マジック愛川クラブ